

市民の皆様から要望を受けていたことが新しく事業化されました！

- 避難時の乳幼児用液体ミルクが配備されます。拠点備蓄倉庫に1200本配備予定。使い捨て哺乳瓶も新しいものが配備されます。
- 新生児の聴覚検査費用に補助金がでます。新生児期に検査し、早期に必要な療育を受けることによって、聴覚障害を軽減することができます。
- 宿泊型、デイサービス型の産後ケア事業が開始します。市内の委託された助産院・医療機関において、産婦の方に対して身体を休めながら、助産師から身体のケアや子育てのアドバイスを受けることができます。(一部自己負担があります。)(育児の不安や産後うつ予防のために、きめ細かな支援を受けることができます。)
- 医療的ケア児の保育所への入所が一部可能となりました。これまで、市内の保育所での受け入れ施設がありませんでしたが、看護師を配置し医療的ケア児を受け入れられる施設ができました。(今年度は1箇所ですが、財政的支援を行い、今後増やしていくようさらに要望してまいります。)

今年度予算で新規・拡大する事業(一部掲載)

市全体に関連する事業

- ①私立幼稚園の預かり保育事業の拡充
- ②ICTを活用したアクティブ・ラーニングの推進(中学校21校、小学校35校にタブレット型コンピュータが配備されます。)
- ③市立高校体育館への空調機の設置
- ④公園遊具の安全性の向上
- ⑤児童相談所が2施設に拡充
子ども家庭総合センター内にある児童相談所が北部・南部の2施設として運営されます。緊急保護を短時間で対応していきます。
- ⑥重症心身障害児のレスパイトケア(一時的な入所)事業の創設
- ⑦放課後児童クラブの支援員の処遇改善と新規開設が拡充

西区に関連する事業

- ①指扇土地地区画整理事業
現在進捗率35.2%
- ②宝来川・滝沼排水路河川改修事業
今年度は穂積自治会館南側73メートル整備予定、完成は令和5年度予定
- ③秋葉の森総合公園整備事業
今後の整備エリアについて地元へ報告しながら行って行く予定
太陽が丘周辺の榛の木は伐採予定
- ④馬宮市営住宅建て替え事業
令和4年度から工事開始
予定で準備中



市民生活委員会等の活動

- ①犯罪被害者等支援条例の制定を求める決議を提出
犯罪被害者は、家族を失う、怪我をするなどの直接的な被害にとどまらず、精神的なショックやプライバシーの侵害など二次的な被害に苦しんでいます。市では「要綱」により窓口の設置などを行っていますが、さらなる支援体制を整えるための「条例」制定を求めました。
- ②「パートナーシップ宣誓制度」が4月1日から開始
LGBTなど性的少数者や事実婚のカップルが結婚に相当する関係として市が認めるもので、性的少数者の方にとって生きやすい社会にしていけるためのものです。
問合せ:さいたま市人権政策・男女共同参画課(☎048-829-1132)
- ③さいたま市市民活動サポートセンターの管理が指定管理者による管理に戻されます。

超党派の女性議員でとりまとめた「女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書」を議員提出議案として提出しました。

我が国では男女格差を測るジェンダー・ギャップ指数において令和元年は153カ国中121位と前年からさらに後退しています。女性に対する差別を撤廃し、男女平等社会を実現するためにはさらなる施策の推進が急務です。

市民生活委員会で新設された見沼消防署を視察しました



今年度予算の防災・減災対策事業 42億2590万円

台風19号災害調査特別委員会で提言した内容に対して、新たに事業が計画されました。(一部掲載)

- ①荒川・入間川洪水ハザードマップ改定(上層階等への緊急避難場所を増加)
- ②マイ・タイムラインを活用した地区防災計画の策定支援
- ③高齢の方、障害のある方のためにエアーマットを避難所に備蓄
- ④新たな防災ガイドマップを全戸配布
- ⑤電話・FAXによる防災情報の配信
- ⑥被災した市内企業に資金調達支援

